

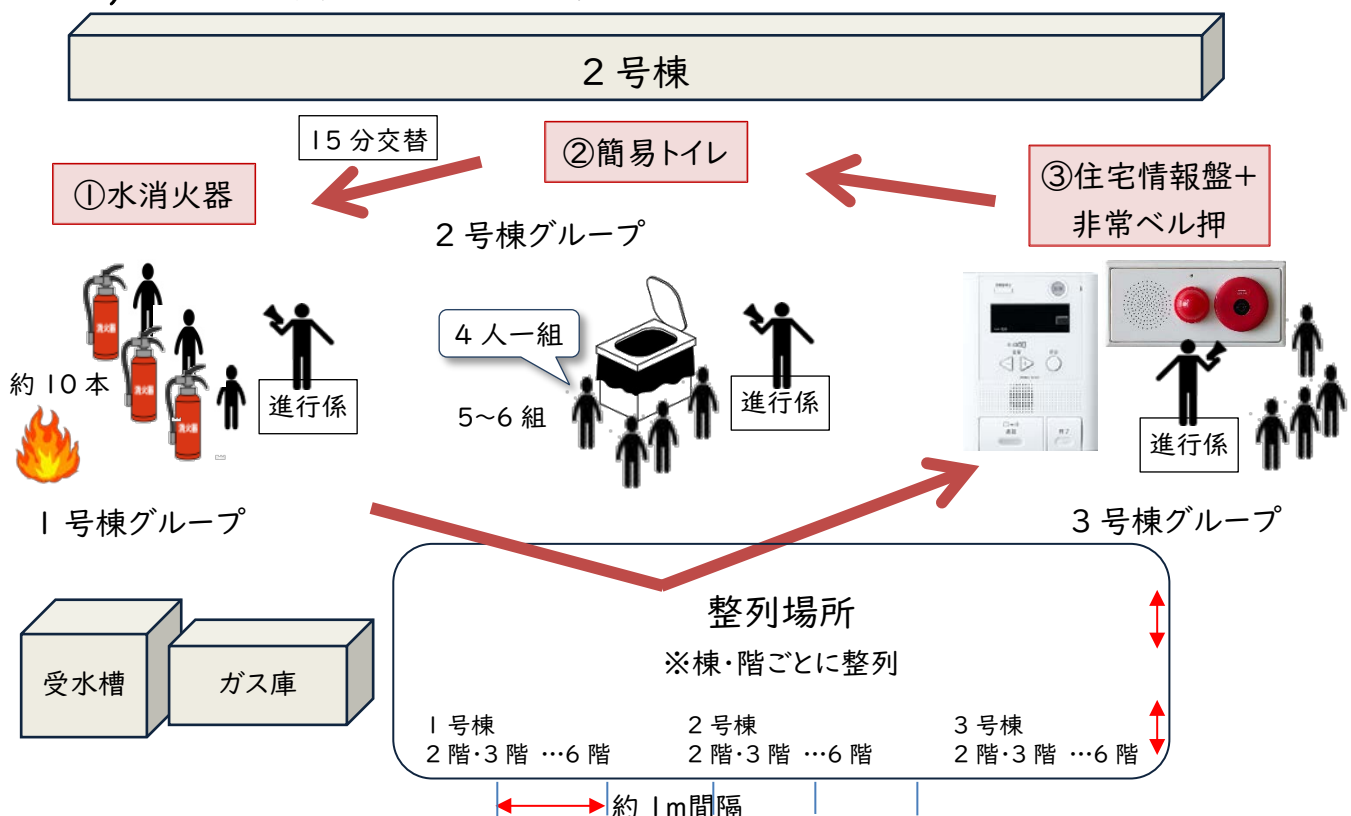
県営みどり町アパート自治会 2024 年度 消防訓練 企画書

1. 概 要

- 目 的： 火災発生時の取るべき行動を確認し、より多くの入居者が参加・体験して、毎年繰り返すことで、アパート全体の実用的防災力と共助の力を高める。
- 特 徴： 発煙筒使用、非常ベルを鳴らすなど、現実味のある訓練
- 日 時： 2024 年 10 月 27 日（日）9:30 非常ベル鳴動、小雨決行・荒天縮小
- 係員集合時間： 9:00（役員は 8:30 集合、正副会長による縮小判断は 8:30 までに決定・周知）
- 避 難 場 所： 駐車場（受水槽前）
- 火災想定場所： 1 号棟 606 号室前、2 号棟 303 号室前、3 号棟 509 号室前
- 訓 練 内 容： 避難訓練→総合訓練、安否確認シートの掲示、非常用持ち出し袋携帯
体験訓練→水消火器、簡易トイレ、住宅情報盤+非常ベル押
- 主 催： 県営みどり町アパート自治会
- 協 力： 大船渡消防署、県大船渡土木センター、岩手県建築住宅センター、船戸義和（県被災地コミュニティ支援コーディネート事業）
- 役 割 説 明 会： 2024 年 10 月 20 日（日）17:00（簡易リハーサル実施を検討）
- 告 知： チラシ全戸配布 10 月中旬、近隣お知らせ文書 10 月 20 日頃
- 備 考： 終了後に消防車両の見学を実施（子どもを中心に参加促進）

2. 体験訓練の配置と実施内容・方法 ※全て屋外で実施、小雨時のピロティ使用を検討 避難訓練の整列・点呼後、棟毎の 3 グループに分かれ、各体験訓練（各 15 分）を実施

ア) 配置：体験訓練の配置イメージは下図の通り。



イ) 実施内容・方法(指導)【消防署員計 7 名】

- ① 水消火器(消防署)
正しい操作手順と初期消火の有効性、消火器の仕組み等を学ぶ。
- ② 簡易トイレ(自治会:飯島+2 名)
市販の簡易トイレを使い、非常時に自宅トイレですべき操作と凝固剤等を使った汚物処理の方法を 4 人一組で学ぶ。簡易トイレ 3 回分を全戸配布。
- ③ 住宅情報盤+非常ベル押(船戸:県事業コーディネーター、協力:アイホン株式会社)
各戸設置の住宅情報盤(インターホン)の非常用機能と使い方や非常ベル・火災報知器との連動・非連動を学ぶ。また、非常ベルのデモ機では、押す際に必要な力を体験するほか、一部役員はベルの解除方法を学ぶ。

3. 役割分担

「役割分担表」参照。自治会役員のほか、7~9 月の班長等が担う。

4. 内容(タイムスケジュール目安)

8:30	実施可否判断、役員集合、準備開始、希望者向け役割説明と確認	避難訓練 20 分
9:00	係集合 打合せ(役割分担確認)	
9:20	係配置(9:29 発煙)	
9:30	火災発見 非常ベル鳴動(3 分間)、避難開始	
9:31	各係が 2 階の受信盤確認(火災を目視できれば省略可)	
9:32	初期消火、避難誘導、通報(119 番 1 名、役員携帯 2 名)	
9:40	受水槽前集合 点呼→集計→消防署員への避難状況報告	
9:50	各種体験訓練(棟毎、15 分×3 回)	
10:40	結果発表と講評(消防署員)	
10:48	挨拶と連絡(防犯防災部、会長ほか)	
10:50	訓練終了、消防車両見学、片付け(参加者に手伝い呼びかけ)	
11:10	撤収	

5. 事前に準備するもの(担当者)

近隣へのお知らせ文書(自治会)	点呼用記入票・クリップボード(自治会)
全戸配布用チラシ(作成:船戸)	役割分担表・実績記入票(船戸)

6. 当日用意するもの(担当者)

係用腕章(自治会)	発煙筒・砂入りバケツ 3 組(自治会)
整列用プラカード 15 本(自治会)	本部用テーブル 3 台(自治会)
マイク・拡声器 3 台(自治会)	時間計測用ストップウォッチ 2 個(自治会)
手指消毒用アルコール 10 個(自治会)	アルミマット 8 枚(自治会)
	水消火器 7 本(大船渡消防署) 3 本(住宅センター)

以上